

かの 葛野の鐘

図書館報 第8号



京都光華女子大学図書館
2001.4発行

(題字は元暦校本萬葉集より集字)



図書館の利用証が変わります

KOKA CARDと学生証がひとつになりました。
学生の皆さんは学生証で利用できます。

学生以外の方は今までのKOKA CARDを使用してください。



図書館と私

図書館長 か可 とう藤 とよ豊 ふみ文

この度、図らずも重責の一端を担うことになり、果たして勤まるものかどうか、心許ない限りですが、これまで先人が築いてこられた図書館を継承し、さらなる発展のために、微力ながら努力してまいりたいと考えています。しかし、そのためには教職員の皆様のお力添えが是非とも必要です。今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げる次第です。

さて図書館ということで、私が最も心躍らせたのは、20年以上も前になるが、コペンハーゲン大学・キルケゴール研究所に留学し、秘書の方に案内され、初めて通された研究所のキルケゴール関係図書の多さでした。デンマーク語原典のキルケゴール全集はもちろんのこと、独訳、英訳、仏訳、伊訳など各国の翻訳がずらっと並び、その片隅に、その頃筑摩書房から刊行され始めた榊田個人訳のキルケゴール全集が3、4冊並んでいるのに目がとまると、遙々そこからやってきた自分と重なって不思議な気持ちになったことを今でも覚えている。日本では望むべくもない北欧の学者による研究書や論文、さらには

キルケゴールがコペンハーゲン大学神学部で学んでいた頃の哲学教授の著作なども揃っていた。それらを眺めていると研究テーマがどこまでも広がっていくかのように思ったものです。しかし、その私が、すでにキリスト教神秘主義に関心が傾いていたとはいえ、彼に関する著書を纏め得ぬまま今日まで来たことを、彼に対して正直申し訳なく思っている。

大学は新生から専門の研究者まで、さまざまな人々が共に学び、研鑽を積む場ですから、それぞれのニーズに応えなければならないことは言うまでもありませんが、大学の個性化が求められているように、図書館もまた、殊に情報技術の発達に伴うOPACやWebcatなど、全国の大学図書館等が所蔵する図書、雑誌の検索が可能となった現在、図書・資料の収集においても特性が発揮できるようなもの、また知的想像力が掻き立てられ、研究の幅を大いに広げてくれるようなものでなければと、当時を振り返り思う次第です。

(生活環境学科 生活情報専攻・宗教学)



生涯学習と図書館

人間関係学部 人間関係学科 藤 田 綾 子

図書館司書課程のカリキュラムには、「生涯学習論」が必修科目で組み込まれています。

私は、人間関係学科で同名の科目を担当していますので、本学の司書課程の学生さんの科目を担当させていただきます。

「生涯学習論」が必修になったのは近年（平成9年度から）のことなのですが、その理由は、生涯学習時代といわれる現代社会の中で図書館の果たす役割が大いに期待されているからです。そして、そこで働く司書の人たちに生涯学習をする人たちのサポーターになって欲しいという願いがあるからです。

ご承知のように、生涯学習社会のキャッチフレーズは「いつでも・どこでも・誰でも・何についてでも学べる社会」を作ることです。このことを、具体化できる場所の一つが図書館なのです。これからは公立の図書館だけでなく、大学図書館も在学は勿論、卒業生・地域の人々・高校生等々様々な人の学習拠点の一

つとして利用されてくると思われます。本学の図書館でもすでに外部から、あるいは外部への雑誌や著書の問い合わせ・提供などを行っておられますが、この傾向は情報化の進展にともないますます要求されていくのではないのでしょうか。

最後に、学生の皆さん、皆さんがこれから活躍される社会は、科学技術の進歩・価値観の変化・生活様式の変化が加速度的に押し寄せてきます。

責任ある大人として生きていくためにはこれらの流れへの挑戦が必要になってきます。学校を出てから分らないことを調べたり、興味のあることを深めることを一番身近で、安上がり、親切に、奥行き深く、幅広く、正しく教えてくれる先生は図書館におられるのです。学生時代から図書館をもっと利用する習慣を是非・是非・是非身につけて欲しいなと願っております。今日この頃です。

（生涯学習・老年学）



古 書 の 町

生活環境学科 生活情報専攻 西 郷 清 美

私のお気に入りの町は、イングランドとウェールズの境界線、ブラック・マウンテンを望むワイ川のほとりに位置するヘイ・オン・ワイ（Hay-on-Wye）という古書の町である。

1961年にリチャード・ブースが劇場や空き家などを買い占めて古書店にしたのが始まりである。40年程の歴史であるが、毎年5月に開催される「ヘイ文学フェスティバル」には世界中からブック・コレクターが集まり、コンサートや詩の朗読会、著名作家による講演会やサイン会が行われる。偶然購入した本が貴重な初版本であったことがわかり、新聞で紹介されたこともあり、古書から一攫千金の夢を見ることもできる。

一時間もあれば見て歩ける小さな規模の町に、約40

軒の古書店が並ぶ。約40万冊所有の図書館ほどの大きな古書店もある。ヘイ・キャッスルの塀に並ぶ古書の棚がこの町のシンボルとなっており、古書に町が包まれているといっても過言ではない。

取り扱う本も古ければ、店員も高齢のお店もあり、耳が遠いのか、なかなか話が通じないのもおもしろい。全く整理されていない山積みの中から、探し求めた古書を見つけた時の感動はひとしおである。

古書には当時の所有者の住所、名前などが記載されている場合が多い。1859年に出版された英文速記の本が、時代を経て私の大切な蔵書となったことを、当時の所有者はどう思うのだろうか。

（ビジネス実務教育）

information

学生の皆さんへ

今年度から学生証で図書館の利用ができるようになりました。図書の貸出、AV資料、書庫の利用には学生証が必要です。

在学生の皆さんは今までのKOKA CARDでは利用ができなくなりますので注意してください。

KOKA CARDは学生証と一緒にになりましたので、再交付等の手続きは学生サービス課で行います。

相互利用について

昨年までは、相互利用に関わる支払い手続きは申込者にしてもらっていましたが、今年度より図書館で行うことになりました。

書庫の利用について

今年度から入庫の利用方法が変わります。書庫利用中は、教職員の方も学生の皆さんもカウンターで図書館の利用証をお預かりし、退庫する時にお返しします。

これまで学生の皆さんは、地下2階E書庫（和雑誌）は出納による利用だけでしたが、今年度より入庫による利用もできるようになりました。（ただし、研究紀要は製本作業中のため今までと同様に出納による利用になります）

詳しいことはカウンターで尋ねてください。

私の薦めるこの一冊



『ことばと国家』 田中克彦著

文学部 日本語日本文学科 ^{いわ}岩 ^{さき}崎 ^{たかし}卓

「母国語」という言葉がある。また「母語」という言葉がある。今でも「母国語」という言葉のほうがより一般的なのだろうか、テレビでも「英語よりもまず母国語である日本語の能力を磨くべきだ」というように、「母国語」という言葉が使われることが多い。しかし「母語」という言葉を使うべきところに「母国語」という言葉を使っている人を見ると、「この人は『ことばと国家』を読んでいない」とわかってしまう。

「母国語」というのは「母国+語」、つまり「母国のことば」という意味になるが、その「母国語」と、母親から口伝えに教わった第一言語、つまり「母語」(mother tongue)とは、必ずしも一致するわけではない。例えばアイヌの人にとってのアイヌ語は、母語ではあっても、母国語ではない。よく考えればわかるよ

うなことだが、そこには言語と国家の微妙な関係の問題の一端が隠されている。ふだん何気なく使っていることばが、いかに偏見に彩られたものになりうるか。そのような指摘をこの本から読んだ時は、自分自身「母国語」という言葉を何気なく使っていただけに、目を開かれる思いだった。以来、「母国語」という言葉には敏感に反応してしまうようになり、そのたびにこの本のことを思い出す。なおこの本は、他にも言語ナショナリズムの問題など、いずれも印象的な話・指摘にあふれているが、かつて国語教科書の国民的教材だったドーデの「最後の授業」を、1986年を境に、教科書から消してしまったという社会的影響を与えたことでも有名である。

(日本語学)

岩波新書 黄 175 D書庫



『高橋尚子 金メダルへの絆』 小出義雄著

生活環境学科 生活デザイン専攻 ^{そわ}岨 ^{なか}中 ^{とおる}達

2時間23分14秒。金メダルで日本中を沸かせたシドニー・オリンピック女子マラソンでの高橋尚子選手の輝かしい記録である。あの日、世界中でどれほど多くの人たちが、42.195キロメートルのマラソンコースでの熱闘を報じるテレビ画面に釘づけになっていたことだろう。勿論私もそのひとりであった。華奢とも見えるあの身体のどこに、あの長丁場を平均秒速4.9メートル強のハイスピードで、2時間半近くも競い走り続けるエネルギーが貯えられているのだろう。肉体的エネルギーにもまして精神的にも強靱なエネルギーの持ち主に違いない。それにしても可憐な笑顔。そんな時、書店の店頭を飾ったのが、笑いっぱいの髭の小出監督と高橋選手のちょっとはにかんだような笑顔を表紙

にした本書「高橋尚子 金メダルへの絆」であった。本書を開いてみると、高橋の多くの練習風景や競技中の写真を交え、小出監督の歯切れのよい語り口で様々なエピソードが紹介され、顔をあわせてから6年、指導を始めて5年で、五輪史上初の女子陸上日本人金メダリスト誕生までの日々が語られている。ひとつの目標をもち、あくことなく、しかし心軽やかにその目標に向かっていく高橋の精進、弟子を信頼しきってともに走る監督の時宜をえた黄金のようなアドバイス。学ぶとは、教えるとはどういうことを教えられた本書との出会いであった。近く高橋尚子の自伝「風になった日」が出版されるという。たのしみである。

(教育心理学)

914.6 / KOYO 3階閲覧室

数字で見る図書館の動き

開館状況

年度	開館日	開館日数	入館者	貸出冊数	貸出人数
10	10.4.10 ~ 11.3.19	236	74,488	14,284	8,019
11	11.4. 9 ~ 12.3.18	243	71,403	13,878	7,715
12	12.4.11 ~ 13.3.19	240	68,049	13,210	7,052

年間受入冊数(平成12年度)

	和書	洋書	消耗図書	計
購入	3,611	749	745	5,105
その他	555	183		738
計	4,166	932	745	5,843

蔵書冊数(平成13年3月現在)

	和書	洋書	計
図書	約136,800冊	約24,000冊	約160,800冊

相互利用件数

年度	複写依頼	複写受付	閲覧依頼	閲覧受付
10	94	28	45	8
11	163	33	72	5
12	132	34	70	31

レファレンス件数(カウンター受付)

年度	学内調査のみ	学外への依頼	学外からの依頼
10	56	175	26
11	267	136	23
12	167	179	44



私と図書館

大学院 文学研究科
英語英米文学専攻

平成12年度修了 おかもと れいこ
岡本 玲子



私がこの光華女子大学の図書館を学生として利用し始めたのは、大学院生になってからのことだ。それまでは、教職員として承認されていたので、貸出期間や冊数が一気に狭められてしまった。初めは、なんだか窮屈な気がしていたが、レポートや研究のために足繁く通う毎日が始まった。なぜなら、自分ではとても買うことが出来ない高価な書籍や、現在ではなかなか手に入らない文献が、この図書館に来れば、すぐに閲覧することができるからだ。また、欲しい資料があれば蔵書の検索システムを使って調べれば、瞬時にどこにあるかがわかる。例えば、閲覧室には無いが閉架書庫に所蔵されていれば、その情報も一目瞭然である。

ところで、閉架書庫の利用数は、学生の数と比較してみるとあまり多くないようである。かく言う私も、初めは進んで行こうという気にはなれなかった。それは、閉架書庫へは、地下に通じる階段を降りて行かなくてはならないからだ。

しかし、一度この書庫に入ってみれば、そこが「知の宝庫」であることがわかるであろう。絶対に入手不可能な初版本や豪華版の装丁本が所狭しと並んでいる。この魅力は、実際に足を踏み入れた人のみぞ知ることが出来るものと言えよう。この素敵な未知との遭遇を、貴女も体験してみては！？

寄贈図書一覧 (平成12年4月～13年2月受入)

寄贈者の50音順 (敬称略)

現教職員 (非常勤を含む)

旭 純 雄 箱庭療法	他20冊
飯 沼 万里子 英語・英米文学のエートスとパトス	他13冊
岩 崎 卓 ヴァチカン図書館蔵葡日辞書	他 1 冊
内 田 次 信 新現代独和辞典	
奥 野 陽 子 二見浦百首	
可 藤 豊 文 瞑想の心理学	他 2 冊
木 邊 円 慈 学校経営と学校図書館	
後 藤 安 子 男女共同参画社会をめざして	
清 水 康 次 漱石から漱石へ	
関 肇 近代小説「都市」を読む	他 1 冊
高 木 英 明 現代教育の条件	他12冊
高 木 浩 人 医論あり	他 3 冊
太郎丸 博 教育開発研究シリーズ	13冊
松 田 豊 子 王朝和歌と歌語	他 3 冊
山 本 登 朗 伊勢物語と芦屋	他 6 冊

公宴続歌研究会 (代表 三村晃功)

公宴続歌本文編、索引編

光華女子学園

光華女子学園創立60周年記念賛歌集 (CD)
光華女子学園創立60周年記念誌

光華女子大学英米文学会

英語世界を視る

旧教職員・交換教授・卒業生

池 内 常 郎 茶会席瓢亭の四季	他 1 冊
加 藤 実 大英博物館古代エジプト展	
小 島 啓 邦 The Antiquary 1-3	他36冊
高 嶋 恒 夫 菊沢季生国語学論集 全5巻	
John Madsen (ヴェナピスタ大学名誉教授) Nothing like it in the world	
楠 香 織 テロリストのパラソル	
山 本 成 名著復刻全集近代文学館	70冊
名著復刻日本児童文学館	38冊

図書の詳細はOPACで調べることができます。

1階光華コーナーにも現旧教職員の寄贈図書があります。山本成さんからの寄贈図書は1階に別置してあります。この他に、五木寛之氏をはじめ学外の方からも多数の図書をご寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。

図書館のホームページからも「葛野の鐘」(第7号～)を読むことができます (<http://www.koka.ac.jp/toshokan/>)

Schedule

4月7日(土)	図書館ガイダンス
4月10日(火)	9時開館
4月12日(木)	返却期限日

編集後記

ご寄稿くださいました皆様には心より御礼申し上げます。この号よりB5サイズからA4サイズに変更しました。今後ともよろしくお願いいたします。